

消防救第 105 号
平成 29 年 5 月 25 日

各都道府県消防防災主管部長 }
東京消防庁・各指定都市消防長 } 殿

消防庁救急企画室長
(公印省略)

全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の周知について（依頼）

平素より、救急行政の推進について御尽力いただき御礼申し上げます。

近年、救急搬送件数は、高齢化の進展等によりほぼ一貫して増加しており、このような状況が続けば、真に必要な傷病者への対応が遅れ、救命率に影響が出る可能性があります。このため、昨年度開催した「救急業務のあり方に関する検討会」において、緊急度判定支援ツール等の検討を行ってきました。

この度、住民による緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するため、緊急度判定プロトコル ver. 2（家庭自己判断）をもとに、「Q助（きゅーすけ）」のスマートフォン版及びWeb版を開発し、5月25日（木）から提供を開始することとしました。

住民による積極的な活用が重要であることから、広報用のチラシや動画（15秒）などを活用して、住民に広く周知していただくようお願いします。

貴職におかれましては、下記事項に留意されるとともに、各都道府県にあっては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知されるようお願いいたします。

記

1 「Q助」の概要

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応（「いますぐ救急車を呼びましょう」、「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」又は「引き続き、注意して様子をみてください」）が、緊急性をイメージした色とともに表示されます。

その後、119番通報、医療機関の検索（厚生労働省の「医療情報ネット」にリンク）、受診手段の検索（一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会の「全

国タクシーガイド」にリンク)を行うことができるようになり、住民が行う緊急性の判断を支援するものとなっています。

2 「Q助」の使用方法

○ スマートフォン版

「消防庁ホームページ」→「救急お役立ちポータルサイト」→「全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)」から、ダウンロード可能です。

また、「App Store」や「Google play」で「Q助」で検索の上、ダウンロード可能です。

※アプリはiOS 8.0以上のiPhone端末、Android OS 4.4以上のスマートフォン・タブレット端末で利用可能です。

○ Web版

「消防庁ホームページ」→「救急お役立ちポータルサイト」→「全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)」のWeb版で閲覧可能です。

※消防庁ホームページ 全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)



3 「Q助」の周知

住民に対しては、別添チラシや広報用動画を活用の上、積極的に広報してください。

※URL : https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyuu_app.html

【連絡先】

消防庁 救急企画室

森川専門官 小川係長 中西事務官

TEL : 03-5253-7529 FAX : 03-5253-7532

E-mail : kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp